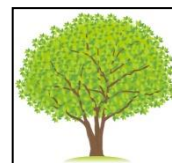


押し葉づくり



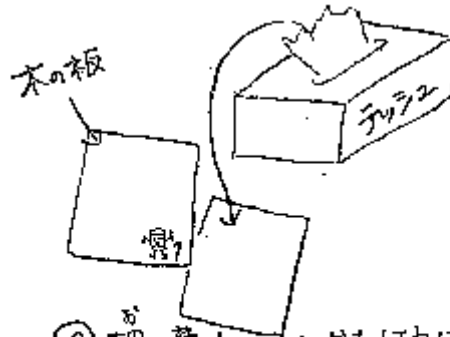
活動場所	プレイルーム、ホール、実習等	自然の家に あるもの	押し葉セット、ティッシュ
所要時間	0.5時間	利用者で 用意するもの	ボンド（貼りつける場合）
人数	60名程度		

この活動では、葉を押し花のようにまっすぐにします。まっすぐになった葉は、焼き杉や木のはがきなどに貼りつけるととても美しい作品が出来上がります。特に秋は紅葉した葉をきれいに残しておくことができるのでおすすめの活動です。また、押し葉にすると葉脈がよく見えます。拾った植物の特徴などを調べてみるのもいいでしょう。

お押し葉づくり



- ① 自然の家にある、すきな葉をもってきます。

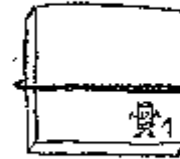


- ② お押し葉セットのかたほうにティッシュを1まいのせます。



- ③ ティッシュの上に葉をのせます。

★ 上に重いものをのせたり、上にずねたりすると、さらにパツたん二になります。

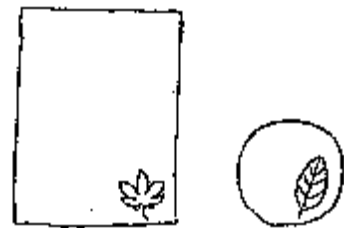


- ④ 番号の書いてある板をティッシュの上のせて、わゴムで止めます。



完成!!

- ⑤ すこし時間をおいたら、葉をかくにんします。パツたん二にならなければ完成です。



木のほがきにつけたり、丸木につけたりすると、すばらしい作品になります。

とくに大切なこと

- ① 葉はできるだけ落ちているものを拾いましょう。
- ② すぐボロボロになるような葉はきれいにできないので、つかいません。
- ③ 使い終わったら、2つまとめて輪ゴムでとめて返しましょう。
- ④ 何かにはりつける時は、葉の先までていねいにボンドをぬりましょう。

1. 学習内容

めざすもの（評価）	関連教科	学び（単元）
・植物や葉を標本にする活動を通して、植物の成長や環境とのかかわりについて、見方や考え方もつことができる。	理科	4年「季節と生物」

2. ポイント

ア) 活動前

- ・作った作品をはがきやコースターに貼る場合は、物品を購入すること。
- ・貼り付ける際はボンドを使用する。ボンドは各団体に用意すること。
- ・活動場所は実習棟、プレイルーム、ホールで行うことができる。

イ) 活動中

- ・葉は極力落ちていた物を拾うよう指導すること。
- ・使用する葉の特徴や植物の名前を調べたりするとより学習を深めることができる。
- ・1セットに複数枚葉を挟むことができる。数名で1つを使う場合は、名前を書くなどして、自分のものがわかるようにしておくこと。
- ・輪ゴムで止めただけでも十分きれいな押し葉ができるが、重しを置いたり、上に座ったりするとよりきれいな作品が出来上がる。
- ・ボンドを使用する際は必ず新聞紙を敷いて使用する。

ウ) 活動後

- ・使用後は2つまとめて輪ゴムでとめ、返却すること。
- ・使用した個数がすべて返却されているか確認する。

3. 安全対策について

--